

全経簿記検定試験 3 級商業簿記 予想問題

新形式の出題問題を作問いたしました。あくまで「予想」ですので、ご理解の上、各自のご判断でご参考ください。

予想問題

問題 1 次の仕訳をもとに、仕訳の対象となった取引あるいは決算手続きの内容として最も適切なものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

(1)

借方科目	金額	貸方科目	金額
備 品	280,000	普通預金 未 払 金	30,000 250,000

1. 事務用整理棚 ¥280,000 を購入し、その代金のうち ¥30,000 については現金で支払い、残額は掛けとした。
2. 事務用整理棚 ¥280,000 を購入し、その代金のうち ¥30,000 については普通預金口座から支払い、残額は掛けとした。
3. 事務用整理棚 ¥280,000 を購入し、その代金のうち ¥30,000 については小切手を振り出して支払い、残額は月末に支払うこととした。
4. 事務用整理棚 ¥280,000 を購入し、その代金のうち ¥30,000 については普通預金口座から支払い、残額は月末に支払うこととした。

【解答】 4

(2)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	27,000	備 品	27,000

1. 決算にあたり、現金過不足勘定で処理してあった現金過剰額 ¥27,000 が、備品を購入したさい ¥225,000 を ¥252,000 と記帳していたためであることが判明した。
2. 決算にあたり、現金過不足勘定で処理してあった現金不足額 ¥27,000 が、備品を購入したさい ¥225,000 を ¥252,000 と記帳していたためであることが判明した。
3. 決算にあたり、現金過不足勘定で処理してあった現金過剰額 ¥27,000 が、備品を購入したさい ¥252,000 を ¥225,000 と記帳していたためであることが判明した。
4. 決算にあたり、現金過不足勘定で処理してあった現金不足額 ¥27,000 が、備品を購入したさい ¥252,000 を ¥225,000 と記帳していたためであることが判明した。

【解答】 1